

エコアクション21

2024 年度 環境経営レポート

対象期間：2023 年 11月 1日 ～ 2024 年10月 31日

作成日：2024年02月07日
更新日：2025年01月20日



目 次

	ページ
1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	2
3. 事業や製品の紹介	3
4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
5. 主な環境負荷の実績	4
6. 環境経営目標及びその実績	4
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	5～6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	7
9. 緊急事態対応の試行・訓練	7
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	8

1. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

個人を尊重し自立的な活動を援助し、人と地球に優しい優れた技術・技能の追及を行い、生産活動を通じて、豊かさの追求と地球環境の保全（美しい地球を未来へ伝える）という自然と人間が調和したモノ造りに取り組み、社会に貢献することを基本理念とします。

＜環境保全への行動指針＞

当社は、環境経営理念を実現する為、エコアクション21環境マネジメントシステムの確立と継続的な改善及び維持を行い、事業活動において環境負荷低減を図ります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の分別や再資源化により、廃棄物排出量の削減に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適性管理に努めます。
6. 自らの生産・販売における効率化改善に取り組みます。
7. 環境経営方針を全社員に周知し、全員参加で環境負荷低減に取り組みます。

制定日：2020年5月28日

更新日：2021年11月1日

代表取締役 篠田 重行

2. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
コーエー精機株式会社
代表取締役 篠田 重行
- (2) 所在地
長野県下伊那郡高森町下市田3120番地2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者
代表者 篠田 重行
環境管理責任者 宮下 尚幸
環境事務局 事務局長 阿部 博
環境事務局 副事務局長 中山 正始
- (4) 事業内容
金属切削加工及び研磨加工による精密部品製造
- (5) 事業の規模
資本金 3,000万円
従業員数 46名
延床面積 2,132㎡
- (6) 事業年度 2023 年 11月 1日 ～ 2024 年 10月 31日



3. 事業や製品の紹介

弊社の主力事業は金属切削加工による電気機械の精密部品製造である。CNC自動旋盤による難削材精密部品加工・長尺シャフト切削加工、CNC円筒研削盤による精密研磨加工を得意としている。

主力受注先は、主に産業用ロボットに組み込まれる精密減速機、波動歯車装置、精密遊星減速装置を開発、製造、販売をしており、マーケットは国内、海外に広がっている。NASAにも使用される等、信頼度が高く幅広く利用されている。

当地区は、アジア№1航空宇宙産業クラスター形成特区に認定されており、弊社も認定企業の1社である。

4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

□認証・登録の対象組織・活動

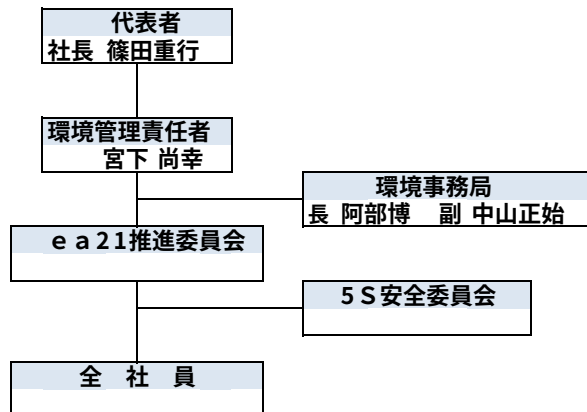
登録組織名： コーエー精機株式会社 全部門

対象事業所： 長野県下伊那郡高森町下市田3120番地2

活動： 金属切削加工及び研磨加工による電気機械器具の精密部品製造

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年11月01日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境活動実績の確認・評価 - 従業員に対する環境経営方針の周知 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（食堂に備え付けと地域事務局への送付）
e a 21推進委員会	- 環境経営計画の審議 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	254,012	267,140	207,403	200,154
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	340	230	160	180
産業廃棄物排出量	kg	128,593	140,868	76,060	96,424
(内混合廃棄物)	kg	1,720	1,360	1,225	1,275
水使用量	m ³	362	393	335	301

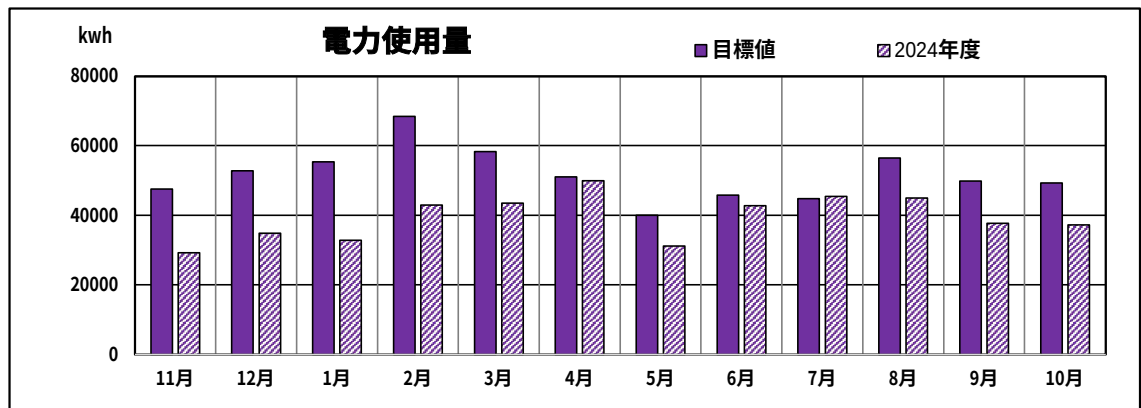
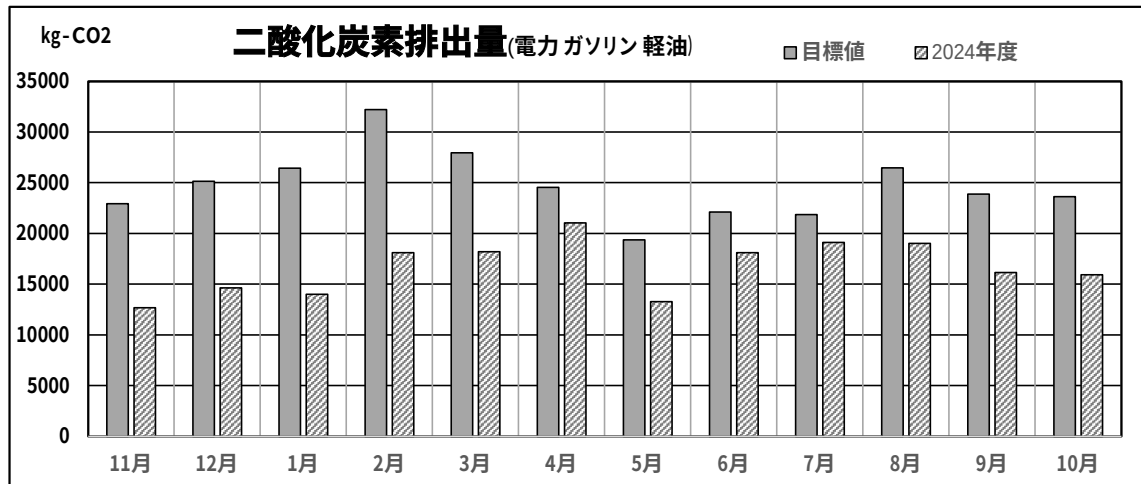
※二酸化炭素排出係数 0.406 kg-CO₂/kWh 令和4年1月公表 中部電力調整後の係数

6. 環境経営目標及びその実績

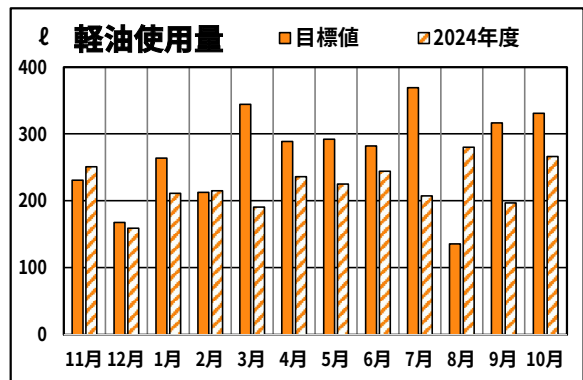
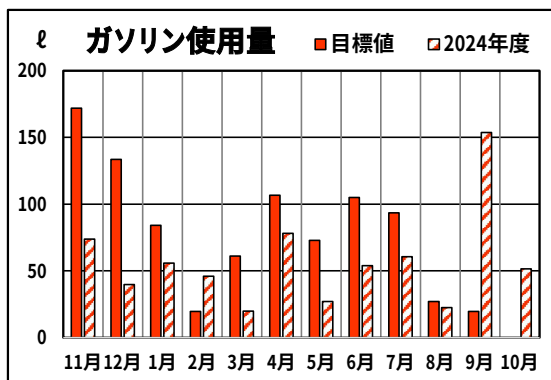
年 度		基準年(2022)	2024年		評 価	2025年	2026年
項 目		基準値	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	256,510	251,380	191,648	○	248,815	246,250
	基準年度比		98.0%	74.7%		97.0%	96.0%
	原単位 kWh/万円	9.284	9.098	10.731	×	9.006	8.913
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	10,630	10,418	8,506	○	10,311	10,205
	基準年度比		98.0%	80.0%		97.0%	96.0%
	原単位 kg-Co ₂ /万円	0.156	0.153	0.193	×	0.152	0.150
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	267,140	261,798	200,154		259,126	256,455
一般廃棄物の削減	kg	230	225	180	○	223	221
	基準年度比		98.0%	78.3%		97.0%	96.0%
混合廃棄物の削減	kg	1,360	1,333	1,275	○	1,319	1,306
	基準年度比		98.0%	93.8%		97.0%	96.0%
水道水の削減	m ³	393	385	301	○	381	377
	基準年度比		98.0%	76.6%		97.0%	96.0%
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
環境に配慮した生産活動	(次項による)						

※二酸化炭素排出係数 0.406 kg-CO₂/kWh

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画



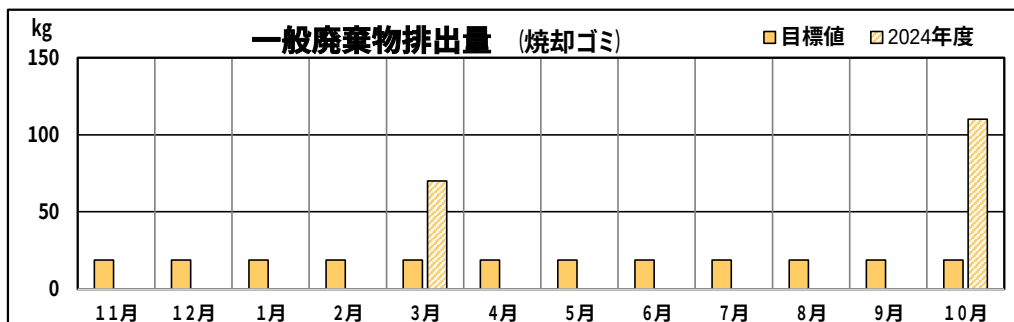
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	使用量としては目標を達成できた。しかし、これは基準年(2022年)と比較して生産量が減少している事も要因と考えられ、売上金額の原単位で評価した場合は 目標9.099Kwh/万円 に対して実績10.731Kwh/万円となる。目標達成手段に挙げた全ての項目に対して取組む事ができており、次年度も引き続き従業員全員で節電に気を配る。
空調温度管理(冷房27℃ 暖房23℃)	◎	
節電意識の向上と定着	◎	
パソコン コピー機の省電力設定	◎	
窓や換気扇により室温を調節(錆注意)	◎	



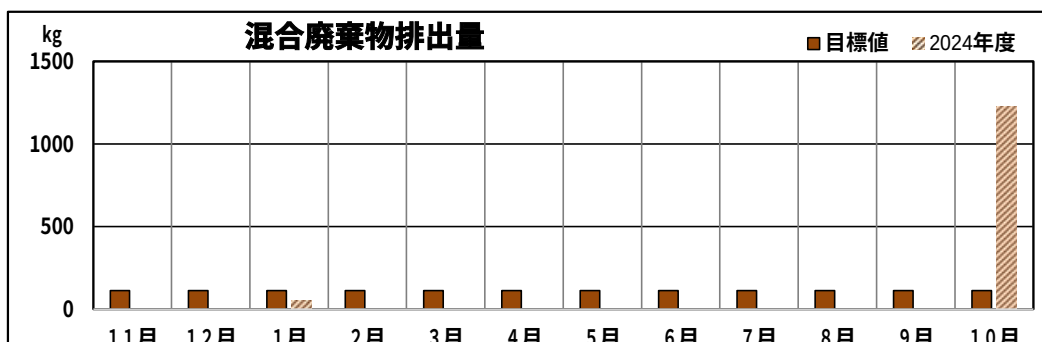
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	Co2の量としては目標を達成できている。しかし、これは基準年(2022年)と比較して生産量が減少している事に伴い納品頻度が減少している事も要因として考えられ、売上金額の原単位で評価した場合は 目標0.153kg- Co2/万円 に対して実績は0.193kg- Co2/万円となる。次年度も引き続き燃料削減に努める。
エコドライブを呼びかける	○	
タイヤの空気圧を適正に保つ	◎	
納品業務の工夫で自動車利用を削減	◎	

*数値目標: ○ 達成 × 未達成

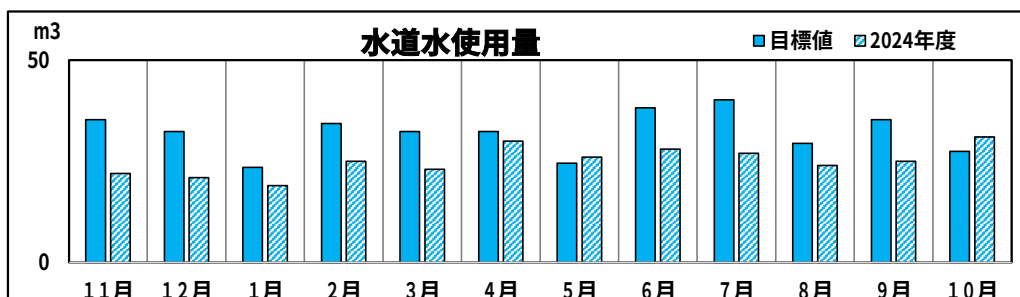
*活動: ◎ よくできた ○ まあまあできた △ あまりできなかった × 全くできなかった



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	排出量としては目標を達成できた。これは基準年(2022年)と比較して生産量が減少している事に伴い廃棄物が減少している事も考えられ、売上金額の原単位で評価した場合は目標0.0033kg/万円 に対して実績は0.0041kg- Co2/万円となる。次年度も引き続き廃棄物削減に気を配る。
コピー用紙の再利用	○	
使用済コピー用紙の再資源分別定着	○	
仕切り板を段ボールからプラ段に変更	○	



混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	排出量としては目標を達成できた。これは基準年比の生産量減少に伴い廃棄物が減少している事も考えられ、売上金額の原単位で評価した場合は目標0.0196kg- Co2/万円 に対して実績は0.029kg- Co2/万円となる。次年度も引き続き廃棄物削減に気を配る。
混合廃棄物(ビニール類)の分別再資源定着	○	



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	使用量としては目標を達成できた。これは基準年比の生産量減少に伴い使用量が減少している事も考えられ、売上金額の原単位で評価した場合は目標0.0057m³/万円 に対して実績は0.0068m³/万円となる。次年度も節水に気を配る。
節水の意識向上と定着	◎	
水道メーターにて漏水確認	◎	

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
有害性の化学物質(PRTR)の表示を徹底	◎	PRTR含有品の有無を監視しており、PRTR含有品は使用していない。次年度もPRTR含有品の監視とSDSの更新を行う。
SDSを入手	◎	

*数値目標: ○ 達成 × 未達成

*活動: ◎ よくできた ○ まあまあできた △ あまりできなかった × 全くできなかった

取組紹介欄 (環境に配慮した生産活動・生産における効率改善など)

- 工場内のエアコンフィルター清掃を毎月実施し、エアコンの効率を良くして電力の無駄を削減。
- 敷地内の緑地整備活動及び工場周辺の美化活動。
- 地震対策 棚などを耐震補強 土のう積み訓練による水災対策 避難情報収集及び社員緊急連絡配信訓練を実施
- 環境に関するブレーンストーミングを実施し、弊社業務に関することから各個人で実践していることや問題など様々な意見が出て、環境意識を高められたのではないかと考えられる。
- 5M改善活動
 - 切削くず巻き付きの改善による不良品削減に取り組み、目標達成率50%となった。
 - フレ精度の向上による工程改善に取り組み、フレ不良発生が0個となり目標を達成した。
 - 面取部のバリ発生率削減とバリ修正方法の改善によるバリ修正時間の削減に取り組み、目標を達成した。
 - 製品の仕上面出来栄え向上(キズを削減)お客様開催の改善活動大会にて金賞(第1位)を受賞しました。キズの無い製品を安定して生産するために、キズの発生を80%削減する目標を立てて活動した。キズの発生要因を洗い出し、数々の対策を立案し生産方法の改善を行った。3種類のキズを、それぞれ 96.8% 96.6% 83.3%削減し、目標を達成した。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
水質汚濁防止法	油類・廃油
フロン排出抑制法	業務用空調機・空気圧縮機（ドライヤ）
PRTR法	SDS管理
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫
消防法	指定数量未満の危険物保管の扱い
RoHS指令	顧客要求による対象製品

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

環境関連法規制の違反はありませんでした。また、違反の指摘、苦情や訴訟はありませんでした。

9. 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024/5/15 5/29 6/12	■実施場所： 環境保全室
■参加者： e a 21推進委員	■実施内容： 流出事故対応訓練
■評価： 3班に分けて実施した。 漏洩防止ツールの確認。油漏れ発生から、連絡対応及び漏洩拡散防止の手順を確認した。	
■手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/6/21 8:30~10:00	■実施場所： コーエー精機工場内・駐車場
■参加者： 参加者 放水訓練 e a 21推進委員他 8名 弱電屋 様 土のう積み訓練 e a 21推進委員他 8名	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練 工場内南側消火栓による放水訓練 消火栓の操作方法と安全、及び情報伝達方法の確認	
■評価： 消火栓の取り扱い方法及び安全について再確認した。 消火訓練の他に、豪雨浸水対策として土のう積みの訓練を実施した。	
■手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	
	
	

緊急事態の想定： 地震 火災の発生	
■実施日： 2024/10/2 10:30~11:20	■実施場所： コーエー精機工場内・駐車場
■参加者： 参加者 全社員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 119番通報訓練。避難経路の確認及び、訓練地震・火災発生から避難訓練。消火器の操作方法を確認。	
■評価： 工場用固定電話からの消防119番通報訓練及び、携帯電話からの救急119番通報訓練を実施した。 地震から身を守る行動を取り、火災発生から避難完了までスムーズにできた。消火器の操作方法を確認し、訓練用の消火器を使い消火器の操作を体験した。 豪雨浸水対策として土のう積みの方法を全従業員に実演説明した。	
■手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
■実施状況の様子	
	
	

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年12月25日

社員のみなさん1年間の環境活動お疲れ様でした。
今までエコアクション21で取り組んで来た事は間違っていないと思います。環境経営マネジメントシステムを活用できていると評価します。毎週1回実施している環境方針の読み合わせとエコに関する指差呼称の継続、毎月1回実施のエコリボンの着用により、取り組み内容を社員1人1人が再認識し維持継続定着できれば良いと思います。

自らの生産・販売における効率化改善の取り組みでは、取り組んだ3グループがそれぞれ環境負荷低減に貢献しました。特に「製品の仕上げ面出来栄え向上」の取り組みで不良品を減少させた事により原材料・消耗工具等の使用量が減少し、ひいては環境負荷低減と経費削減に貢献し、お客様開催の改善活動大会にて金賞をいただく事ができ、大変良い取り組みになりました。次回も金賞を目指して改善活動に取り組みましょう。

次年度については、エコアクション活動の1つとして進めている緊急時対応や水害・地震の防災対策を引き続き進めて下さい。また、今まで取り組んで来たことをベースに、簡素化出来ることは簡素化しましょう。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり